様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 630506	農業用低圧ポンプ運営補助事業	主管課名	産業課
この事務事業の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち		
	施策	効率的で安定的な農業を育むまち	課長名	岡本隆広
	基本事業	農業支援の推進		

(1)事業の概要

みよし市内におけるポンプ運転に掛る費用に対して補助を行う。
ポンプ場　１１箇所
・土地改良事業（県費）
用水機械維持管理事業
県費３０％・市費４０％・地元３０％

みよし市土地改良事業等補助金交付要綱　第6条
（土地改良事業・県費(6)）

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	ポンプ運転に伴う電気使用量	kwh
②	請求件数	件
③		

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	みよし土地改良区からの申請により市内１１箇所（内県補助対象１０箇所）におけるポンプ場の用水機利用実績表と電気使用量との確認を行いその電気使用料金との整合を確認し、みよし土地改良区に対し４０％の補助金（内県補助対象１０箇所）支払事務を行った。
26年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

①みよし市内にある用水ポンプ

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	用水ポンプ数	基
②		
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

①用水ポンプを所有する地元工区に維持管理をしてもらう。

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	用水ポンプを有する地元工区数	工区
②		
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

①農業経営の安定のため農業支援を行う。

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

	名　　称	単位
①	受益者数	人
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標＼年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	kwh	94,588	119,766	119,766	119,766	119,766	119,766
	②	件	1	1	1	1	1	1
	③							
(6)の対象指標	①	基	11	11	11	11	11	11
	②							
	③							
(7)の成果指標	①	工区	8	8	8	8	8	8
	②							
	③							
(8)の結果の成果指標	①	人	1,455	1,454	1,458	1,458	1,458	1,458
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	06	項	01	目	04

(11)コスト

(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	985	985	985	985	985	985
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	985	985	985	985	985	985
人件費B		千円	1,507	1,483	1,483	1,483	1,483	0
	正職員従事時間×人数	時間×人	200 × 2	200 × 2	200 × 2	200 × 2	200 × 2	×
	正職員以外の人件費	千円						
その他費用C		千円						
トータルコストA+B+C		千円	2,492	2,468	2,468	2,468	2,468	985
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　基	227	224	224	224	224	90
	②	千円/						
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	630506	農業用低圧ポンプ運営補助事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
昭和40年代においてポンプ場を築造して　から	
(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
農業用水の自然流下での供給不良箇所において、農地整備に合わせポンプ場を設置し、それの運用補助を開始した。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	
□変化していない ■変化している → 変化した内容：農地転用等による受益地の減少	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	土地改良法	
			この事務を行う根拠又は理由	優良農地を保全し優れた農業経営を行ってもらうためには、この事業が必要である。	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	■影響が大きい □多少影響がある □影響はない	理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	一定の成果は達成されておりこれを継続する。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	□ある → □庁内事業 / □庁外事業 ■ない	類似事業名		
			類似事業との再編の可能性	□ある □ない	内容
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	■ある → ■現状で適正 □ない → □検討が必要 □受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）						
(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
	コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						